

取扱説明書

電動ラッセル除雪機

HG-K5080E

ご使用前に、必ず取扱説明書をお読みになり、内容を理解してからお使いください。



除雪作業中に問題あった場合でも、その場で解決策の動画をご覧頂ける様、本体にQRコードを貼っています。詳細は、P.5をご覧ください。



目次

はじめに	3
安全上のご注意 製品を長くご愛顧いただくために	
安全にお使いいただくために	4
除雪機の安全に係る事項 除雪機の操作をしている時の安全に係る事項	
安全ラベル	5
各部の名称	6
主要諸元	7
組立て	8
梱包部品一覧表	8
ハンドルの組立て	9
ブレードの取付け	10
サブハンドルの取付け	10
ロッドの取付け	11
サイドパネルの取付け	11
配線の仕方	12
各部の取扱い	13
電源スイッチ	13
バッテリー充電用ソケット	13
インジケータランプ	13
ブレード高さ調整レバー	13
前後進切替スイッチ	14
変速スロットル	14
安全レバー	14
ライトスイッチ	14
サブハンドル/ブレード左右回転レバー	15
クローラー	15
ノブハンドル	15
運転前の点検	16
接続コネクタの点検	16
バッテリー残量の点検	16
グリス・潤滑油の塗布	16
ブレード/スクレーパーの点検	16
クローラーの点検	16
各部の緩みやガタツキの点検	16

運転操作の仕方	17
起動の仕方	17
停止の仕方	18
電動での移動の仕方	18
手押しでの移動の仕方	19
除雪作業の仕方	20
除雪作業の仕方（雪を片側に寄せる）	21
除雪作業の停止	22
バッテリーの充電の仕方	23
点検・整備の仕方	25
スクレーパーの点検	25
バッテリーパックの点検	26
クローラーの点検	26
クローラーの張り調整	26
グリス・潤滑油の塗布	27
充電器の点検	27
ヒューズの点検	27
運搬の仕方	28
荷台への乗せ方	28
荷台からの降ろし方	28
ロープの固定方法	28
長期間使用しない時	29
故障と思ったら	30
お客様ご相談窓口	31

はじめに

このたびは電動除雪機をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。
この取扱説明書を熟読しご理解してからご使用ください。
また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

安全上のご注意

※お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。
※誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を次の区分で説明しています。

- 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。
- すべて安全に関する内容です、必ずお守りください。



警告

誤った取扱をした時に、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。



注意

誤った取扱をした時に、軽傷または家屋・財産などの損害に結びつくもの。



禁止

取扱においてその行為を禁止します。



指示

指示に基づく行為を強制します。

製品を長くご愛顧いただくために

取扱説明書に従った正しい取扱や定期点検、保守を行ってください。
注意事項に従わず何らかの損害・故障が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。

安全にお使いいただくために

誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。下記を熟読しご理解してからご使用ください。また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

除雪機の安全に係る事項

警告

指示

- ・使用中に異常音、異常振動があった時は、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
- ・ブレードに接触すると負傷する恐れがあります。
- ・可動部分の位置及び締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他動作に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ・破損した部品の交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故・怪我の原因になることがあります。
- ・長期保管する場合は、雨風の当たらないところにカバーなどをかけて保管してください。
- ・部品交換は、純正部品を使用してください。
- ・本機をご使用になる前に、始動、停止の仕方を覚えてください。
- ・定期点検整備を行ってください。
- ・子供の手の届かない安全な場所に保管してください。

除雪機の操作をしている時の安全に係る事項

警告

禁止

- ・本機は除雪以外の用途には使用しないでください。
- ・身体の調子が悪い時、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。
- ・夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くない時は使用しないでください。
- ・正しい操作を知らない人、子供には操作をさせないでください。
- ・操作中は、子供を近づけないでください。
操作者以外、装置へ近づけないでください。怪我の恐れがあります。
- ・除雪部分や回転部分に顔や手足、衣服などを近づけないでください。
- ・傾斜面を横切って除雪を行わないでください。
- ・坂道での除雪や停車は行わないでください。
- ・本機で、屋根に積もった雪の除雪は行わないでください。

指示

- ・除雪する場所の異物は予め取除いておいてください。
- ・除雪部が異物に突き当たった場合には、速やかに停止してから電源スイッチキーを抜き異物を除去し、除雪機が損傷していないかを調べてください。損傷があった場合には、完全に補修した後でなければ除雪機を再始動しないでください。
- ・本機から離れる時は、必ず前後進切替スイッチをニュートラルにしてから、電源スイッチを「OFF」にしてください。危険を感じたり、予測される場合も、必ず電源スイッチを「OFF」にしてください。
- ・滑りにくい靴、手袋、保護メガネ、保護帽などの作業に適した服装を心掛けてください。
- ・坂道の走行には注意してください。
- ・後方へ走行する時は、足元及び背後の障害物に十分注意し、転倒したり障害物に挟まれないように運転してください。
- ・除雪時は操作に集中し、特にバック時は、滑らないよう足元にご注意ください。
- ・定期点検整備を行ってください。
- ・停止する時は、ブレードを接地させてください。

安全ラベル

除雪機を安全にご使用いただくために、本機に安全ラベルが貼ってあります。必ずご確認ください。

ラベル添付位置は、変更になる場合があります。

⚠ 注意

前進、後進の切替は
走行レバーを放した状態で行ってください。

⚠ 警告

- ・後進する際は、
後方に障害物がないことを
確認してください。
- ・斜面では使わないでください。



この QR コードを読み取ることで、「組立て」「運転操作の仕方」「点検・整備の仕方」等を動画でご覧いただくことができます。また、「整備手順」や「取扱いの注意」等最新情報を随時追加・更新していきます。ぜひご利用ください。

※お持ちのスマートフォンに QR コードを読み取る機能が搭載されていない場合は、QR コードを読み取るためのアプリをダウンロードしてください。

パソコンでご覧になる場合は、
<http://www.shop.haige.jp/video/hg-k5080en.html>

※本取扱説明書と動画では、手順が異なる場合があります。ご了承ください。

バッテリーの液漏れ、破裂、発火などの原因となる恐れがあります。

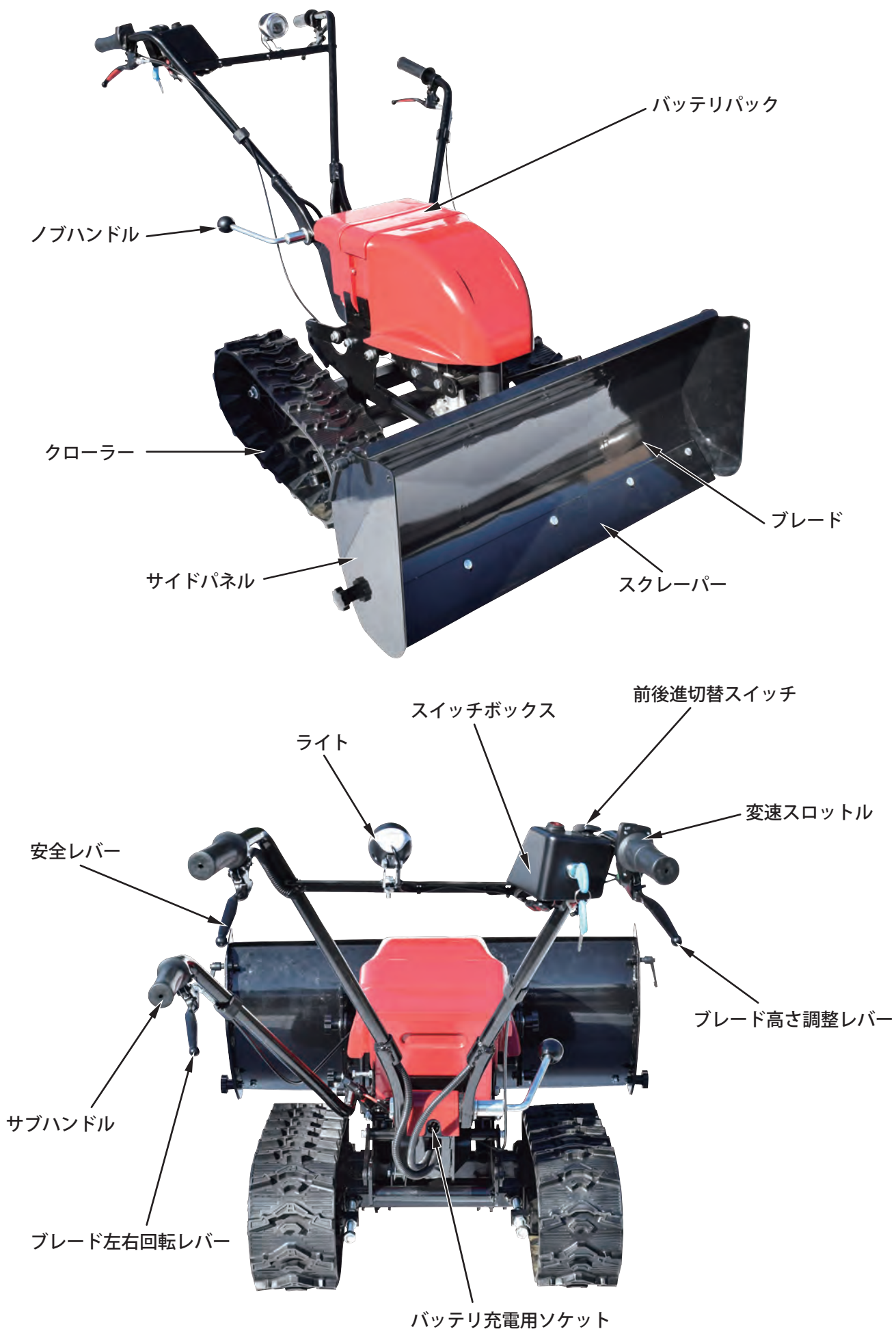
- バッテリーパックを落としたり、衝撃を加えたりした場合や、バッテリーパックに亀裂、破損が確認された場合は、直ちに使用を中止し販売店にご相談ください。
- 充電中は発生したガスに引火し爆発する恐れがあります。火気を近付けないでください。
- バッテリーパック端子、接続コネクタが濡れた状態、又は、手が濡れている状態では、接続コネクタの抜き差しはしないでください。
- バッテリー、充電器を分解、改造をしないでください。

感電、ショートなどの原因となる恐れがあります。

- 必ず充電は、電源スイッチを「OFF」にし、専用充電器で行ってください。
- 充電は火気を近付けず通気の良い場所で行ってください。
- バッテリーの近くで工具やその他金属を使用する場合接触に注意してください。感電や火災の恐れがあります。
- コンセントと充電器の間に延長ケーブルを使用しないでください。

除雪作業終了後は、すぐに充電をしてください。使用しない期間も3カ月に1回は充電してください。

各部の名称



主要諸元

型番	HG-K5080E
ブレードの幅	850mm
ブレードの高さ	330mm
ブレードの回転角度	左右 30°
速度	無段階制御
駆動モーター	DC モーター 24V-500W
バッテリー	鉛蓄電池 (12V-20Ah×2)
充電時間	5-8 時間、60 分以上充電する
バッテリーパック重量	14.5kg
重量	72kg
サイズ	L1365×W850×H950mm

※ハイガー産業は、顧客満足度 100%を目指し、日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。

そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。

また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

組立て

●梱包部品一覧表

1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取出し、すべてが完全であることを確認してください。
2. 装置を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。
3. 梱包内容を慎重に検査し、梱包材は動作確認ができる前に廃棄しないでください。
不足している場合は、お手数ですがお買い求めの販売店までご連絡ください。

A. 本体 	B. サイドパネル 	
C. ブレード 	D. 充電器 	
E. ノブナット 	F. ノブレバー 	G. 充電用コネクタ 

★工具は、付属されていません。市販のスパナ等をご用意ください。

組立て

警告

- 電源スイッチキーを抜いた状態で作業を行ってください。
- 作業中に始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願いします。

注意

- 作業には工具を使用します。必ず用途やサイズの合ったものを使用し、自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。



このQRコードを読み取ることで、「組立て」を動画でご覧いただくことができます。パソコンでご覧になる場合は、<http://www.shop.haige.jp/video/hg-k5080en.html>

★市販 13mm のスパナをご用意ください。

ハンドルの組立て

- 1 予め仮留めしているノブハンドルとボルト、平ワッシャ、スプリングワッシャを外します。



- 2 ハンドルを一旦外し反転させます。ハンドルを少し広げ、取付穴を本体の取付穴と合わせます。



- 3 ボルトを取付穴に通します。



組立て

- 4** ボルトに平ワッシャ、スプリングワッシャ、ノブハンドルの順で取付け、操作しやすい位置にハンドルの角度を合わせ、ノブハンドルを締付けます。



ブレードの取付け

- 1** 本体ブレード取付け部のボルト、ワッシャを一旦外し、ブレードの取付穴を合わせ、ボルト、ナットを仮留めします。



サブハンドルの取付け

サブハンドルを本体に取付けます。

- 1** 本体に予め取付けているナット、ワッシャを一旦外します。



- 2** 本体軸部分にサブハンドルの取付穴を通します。



- 3** ワッシャを通し、13mm のスパナでナットを締付けます。



組立て

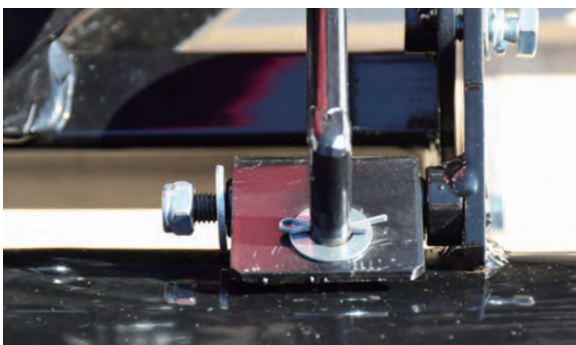
ロッドの取付け

ロッドをブレードに取付けます。

- 1 ブレード背面のナット、ワッシャを一旦外し、ロッドの取付パイプをボルトに通します。



- 2 ワッシャ、ナットを取付けます。



- 3 13mm のスパナでナットを締付けます。

サイドパネルの取付け

サイドパネルをブレードに取付けます。

- 1 ブレード横の上下の取付穴にサイドパネルの穴を合わせます。



- 2 上部はノブレバーで固定します。



- 3 下部はノブナットで固定します。



組立て

- 4** 本機を平坦な場所に置き、ブレードを接地させます。
その際、スクレーパーがサイドパネルより 2mm 程度出ているか確認します。(調整は、P24 参照)



⚠ 注意

- ・スクレーパーがサイドパネルより出ていないと、サイドパネルとブレード本体が路面と干渉し、摩耗して破損の原因になります。

配線の仕方

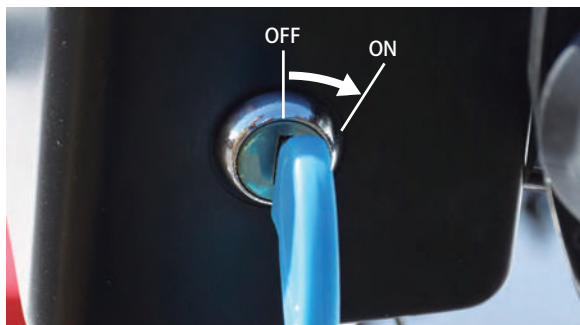
- 1** 赤は赤、黒は黒に接続します。



各部の取扱い

電源スイッチ

電源スイッチの「ON」「OFF」をします。
操作する際は、安全レバーから手を放してください。



ON

運転中の位置です。
※キーの抜き取りはできません。

OFF

停止する位置です。
※キーの抜き取り、挿込みができます。



注意

- ・長時間「ON」の位置で放置しないでください。
バッテリー上がりの原因になります。

バッテリー充電用ソケット

充電器の3ピンコードを挿込んで充電をします。



注意

- ・除雪作業終了後は、すぐに充電をしてください。
充電せずにそのまま放置すると、自然放電しバッテリーの性能が著しく低下します。
- ・使用しない期間も3カ月に1回は充電してください。
- ・充電を行わないで消耗した場合、専用の充電器では充電が出来なくなります。バッテリー交換が必要になります。

インジケータランプ

バッテリーの残量をランプで表示します。



MAX

満充電で約1時間使用可能です。
※赤・橙・緑のすべてが点灯します。

MID

残り約半分です。

MIN

残りわずかです。充電をしてください。

※使用可能時間は、使用状況により異なります。また、バッテリーの性質上徐々に性能が低下していきますので、使用時間が上記に満たない場合があります。

ブレード高さ調整レバー

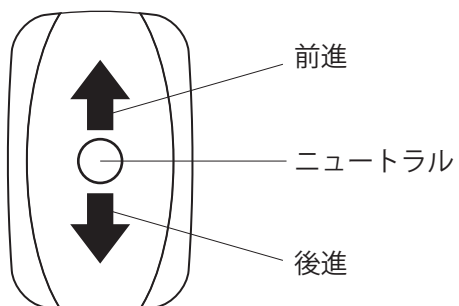
レバーを握ってハンドルを押し下げ、レバーを放すと、その位置でブレードが固定されます。もう一度レバーを握ると解除されます。




各部の取扱い

前後進切替スイッチ


前進、後進の切替えを行います。



操作する時は、安全レバーから手を放します。

 押すと前進します。(最高速度 2.4km/h)

 ニュートラルで停止状態です。

 押すと後進します。(最高速度 1.9km/h)

注意

・安全レバーを握りながら、前後進切替スイッチの操作は行わないでください。

変速スロットル

安全レバーを握り、左に回すと走行を開始します。多く回すと速度が速くなり、少なく回すと遅くなります。



安全レバー

走行、停止させる時に操作します。



握る レバーを握り、スロットルを左に回すと走行します。

放す レバーを放すと停止します。

ライトスイッチ

スイッチ「I」の位置にするとライトが点灯します。



注意

・ライトは、暗闇を照らすものではなく、視界が悪い時や薄暗い時に、他者に視認させるものです。

各部の取扱い

サブハンドル/ブレード左右回転レバー

左側のサブハンドルのレバーを握ることで、ブレードの向きを変えることができます。



握ってハンドルを下げる

ブレードが右に向きを変えます。(1段、2段)



握ってハンドルを上げる

ブレードが左に向きを変えます。(1段、2段)



クローラーロック

クローラーロックを解除するとクローラーがフリーになります。移動の時便利です。



ノブハンドル

ノブハンドルを反時計回りに回すと緩み、ハンドル個角度を変えることができます。



運転前の点検

警告

- ・充電中は、バッテリーパックの点検・整備を行わないでください。
- ・運転前の点検・整備は、本機を平坦な場所に置き、電源スイッチキーを抜いて行ってください。

接続コネクタの点検

バッテリーパックや接続コネクタの周りに水滴や雪などが付着していないか確認します。また、接続コネクタが確実に挿込まれているか確認します。



注意

- ・バッテリーを充電する際は、必ず接続コネクタを取付けてから行ってください。

バッテリー残量の点検

電源スイッチを「ON」にし、バッテリー残量を確認します。緑ランプ（MAX）が点灯していないようであれば、すぐに充電をします。



グリス・潤滑油の塗布

本機の使用後は回転部分、摺動部、可動部を清掃し、グリスや潤滑油を塗布します。

※グリスは市販のリチウムグリスをお使いください。
(P.27 参照)

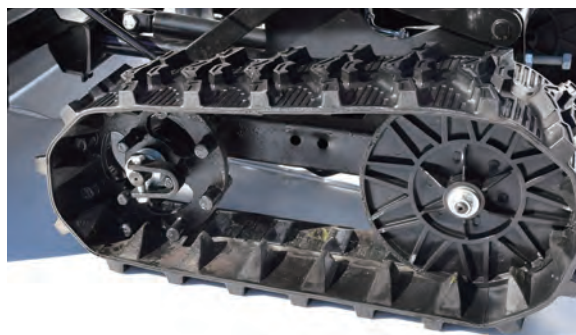
ブレード / スクレーパーの点検

亀裂や破損、ボルト、ナットの緩みがないか確認します。また、スクレーパーがサイドパネルより 2mm 程度出ているか確認します。(P.25 参照)



クローラーの点検

張り具合、亀裂や破損がないか確認します。また、異物が挟まっていないか確認します。(P.26 参照)



各部の緩みやガタツキの点検

各部の緩みやガタツキがないか点検します。ボルト、ナット等の緩みであれば、締付けます。不具合の箇所が分からない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

運転操作の仕方

警告

- ・本機は、屋外や道での除雪用途の目的に合わせて設計されています。除雪以外の目的で使用しないでください。
- ・本機を他の目的で使用したために被った被害については、いかなる責任も負いません。
- ・本機を誤った操作を行ったために受けた個人的な負傷、損傷や他の財産への被害については責任を負いません。
- ・機械操作においては、安全な使用を心掛けてください。

注意



指示

- ・除雪作業を行う際は、手袋、帽子、防寒着、長靴など着用してください。
- ・本機の操作を行う場合は、必ず両手でハンドルを握ってください。

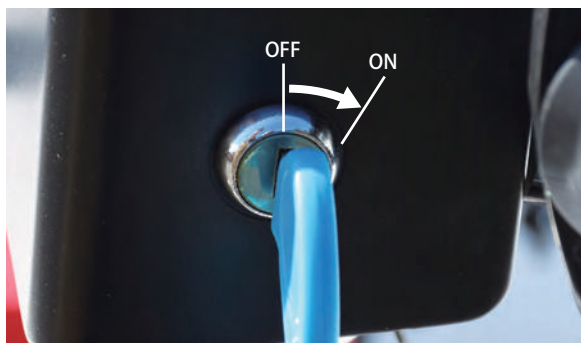


このQRコードを読み取ることで、「運転操作の仕方」を動画でご覧いただくことができます。パソコンでご覧になる場合は、<http://www.shop.haige.jp/video/hg-k5080en.html>

起動の仕方

安全レバーから手を放した状態で行います。

- 1 電源スイッチキーを挿込み「ON」にします。



- 2 前後進切替スイッチを進行方向「前進又は後進」にします。



- 3 安全レバーを握ります。



- 4 変速スロットルを少しずつ回すと進行します。



注意

- ・変速スロットルを勢いよく回すと、急発進し大変危険です。操作はゆっくり少しずつ行ってください。

運転操作の仕方

停止の仕方

- 1 変速スロットルを戻します。



- 2 安全レバーを放します。



- 3 前後進切替スイッチを「ニュートラル」の位置にします。



- 4 電源スイッチを「OFF」の位置にします。



電動での移動の仕方

- 1 ブレード高さ調整レバーを握ってハンドルを押し下げ、レバーを放すと、その位置でブレードが固定されます。



- 2 P.17 の起動の仕方の通り操作し、移動させます。

⚠ 注意

- 雪のない場所で、ブレードを接地させた状態で移動をさせないでください。スクレーパーが破損する恐れがあります。

運転操作の仕方

手押しでの移動の仕方

- 1 ブレード高さ調整レバーを握ってハンドルを押し下げ、レバーを放すと、その位置でブレードが固定されます。



- 2 クローラーの固定金具を解除します。

ロック



解除



- 2 ハンドルを両手で握り押しして移動させます。

注意

- 雪のない場所で、ブレードを接地させた状態で移動をさせないでください。スクレーパーが破損する恐れがあります。

運転操作の仕方

警告

- ・身体の調子が悪い時、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。
- ・夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くない時は使用しないでください。
- ・正しい操作を知らない人、子供には操作をさせないでください。
- ・操作中は、子供を近づけないでください。
- ・傾斜面を横切って除雪や坂道での除雪や停車は行わないでください。
- ・除雪する場所の異物は予め取除いておいてください。
- ・除雪部が異物に突き当たった場合には、速やかに停止してから電源スイッチキーを抜き異物を除去し、除雪機が損傷していないかを調べてください。損傷があった場合には、完全に補修した後でなければ除雪機を再始動しないでください。
- ・滑りにくい靴、手袋、保護メガネ、保護帽などの作業に適した服装を心掛けてください。
- ・後方へ走行する時は、足元及び背後の障害物に十分注意し、転倒したり障害物に挟まれないように運転してください。
- ・除雪時は操作に集中し、特にバック時は、滑らないよう足元にご注意ください。
- ・停止する時は、ブレードを接地させてください。

除雪作業の仕方

- 1 ブレード高さ調整レバーを操作し、ブレードのスクレーパーを接地させます。(P.13 参照)
- 2 電源スイッチキーを挿込み「ON」にします。(P.17 参照)
- 3 前後進切替スイッチを「前進」にします。(P.17 参照)
- 4 安全レバーを握りながら変速スロットルを回します。(P.17 参照)
- 5 深い雪や重たい雪の場合、図 1 のように一度に除雪を行うと、雪の逃げ場がなくなり進行できず、モーターに負荷がかかります。
図 2 のように除雪幅を狭くし、少しずつ除雪を行ってください。

図 1

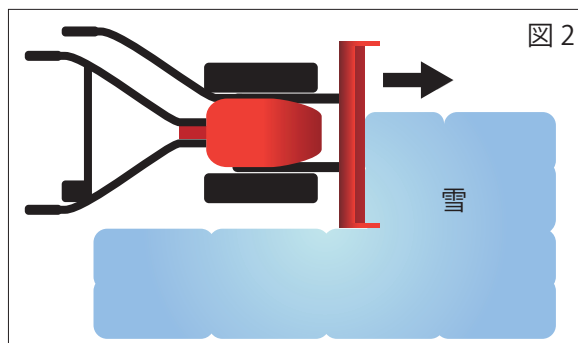
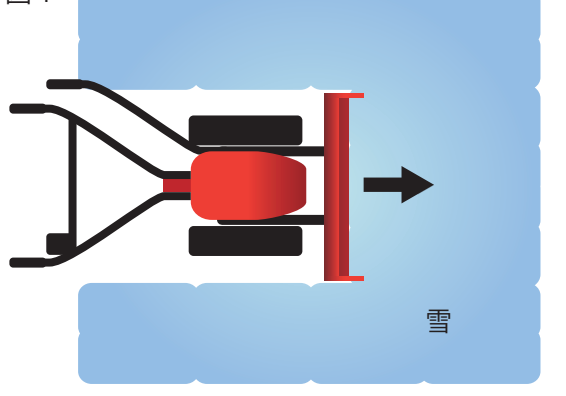


図 2

ワンポイント

深い雪や重たい雪を除雪すると、ブレードに雪が多くたまり進みにくくなります。ブレード高さ調整レバーでブレードの高さを少し上げ、前進、後進を繰り返して除雪します。

警告

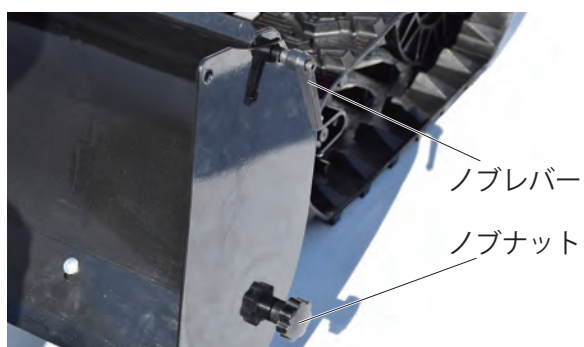
- ・クローラーが止まってしまうような状態で、走行操作をしないでください。モーターに悪影響を与える恐れがあります。
- ・除雪作業中に、異音や振動が発生したら、直ちに運転を中止し、原因を調べてください。

運転操作の仕方

除雪作業の仕方（雪を片側に寄せる）

本機は、ブレードを回転させることがで、角度を付けた状態で除雪を行うと、雪を片側に寄せることが出来ます。

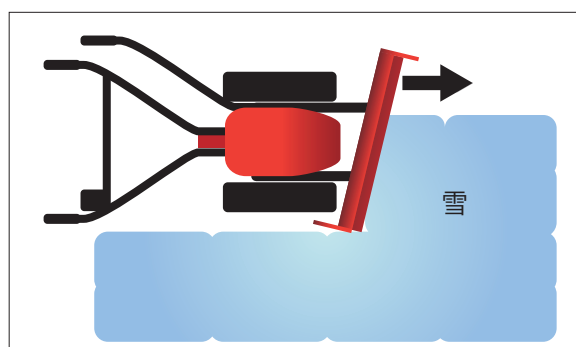
- 1** サイドパネルの下部ノブナットを外し、上部ノブレバーを緩めます。



- 2** ノブレバーを起点にサイドパネルを回転させ、取付穴を合わせてノブナットを取付け締めます。また、ノブレバーも締めます。



- 3** ブレード高さ調整レバーを操作し、ブレードを上に出せます。(P.13 参照)
- 4** サブハンドルで、ブレードを雪を寄せたい方向に回転させます。(P.15 参照)
- 5** ブレード高さ調整レバーを操作し、ブレードのスクレーパーを接地させます。(P.13 参照)
- 6** 電源スイッチキーを挿込み「ON」にします。(P.17 参照)
- 7** 前後進切替スイッチを「前進」にします。(P.17 参照)
- 8** 安全レバーを握りながら変速スロットルを回します。(P.17 参照)
- 9** 図のように除雪を行うことで、片側に雪を寄せることが出来ます。



⚠ 注意

- 雪のない場所で、ブレードを接地させた状態で運転をしないでください。スクレーパーが破損する恐れがあります。

運転操作の仕方

除雪作業の停止

1 スロットルを戻します。



2 走行レバーを放します。



3 変速スイッチを「ニュートラル」の位置にします。



4 電源スイッチを「OFF」の位置にします。



5 電源スイッチキーを抜きます。

⚠ 注意

- 本体に付着した雪は取除いてください。
- 除雪作業終了後は、雨ざらしにしないでください。
- 除雪作業終了後は、すぐに充電をしてください。充電せずにそのまま放置すると、バッテリーの性能が著しく低下します。
- 使用しない期間も3カ月に1回は充電してください。

運転操作の仕方

警告

- バッテリーは引火性ガス（水素ガス）が発生し、取扱いを誤ると爆発し、怪我をする恐れがあります。下記を必ず守ってください。
- 火気厳禁です。ショートやスパークさせたり、火気を近づけないでください。爆発の恐れがあります。
- 落下などの強い衝撃を与えないでください。
- バッテリー液は希硫酸です。皮膚、目、衣服などに付着すると、重大な傷害を受けることがあります。万一、バッテリー液が皮膚、衣服などに付着した時はすぐに多量の水で洗い流してください。万一、目に入った時は、すぐに多量の水で洗い流し、医師に相談してください。
- 子供の手の届く所に置かないでください。

注意

- バッテリーは密閉式の 24V です。
- バッテリーは液入り充電済です。液の補充・点検は不要です。
- 充電には、専用充電器を使用してください。
- 長期間ご使用にならないときは、3 ヶ月毎に充電してください。
- バッテリーを交換する時は、必ず同型式のバッテリーを使用してください。
- バッテリーの使用温度の範囲は、-20 ~ 25℃です。

バッテリーの充電の仕方

バッテリーを充電する際は、各部が濡れていないことを確認してから行ってください。

- 1 バッテリー充電用ソケットカバーを開きます。



- 2 充電器の3ピンコードをバッテリー充電用ソケットに挿入します。



- 3 バッテリーを外して、直接充電することも出来ます。バッテリーのコネクタに充電用コネクタを接続します。
※コネクタ同士の接続は、真直ぐ接続してください。曲がって無理に接続しますと破損します。



運転操作の仕方

- 4** 充電器の3ピンコードをバッテリー充電用ソケットに挿入します。



- 5** 充電器の電源プラグを家庭用 100V のコンセントに挿込むと、充電器のランプが赤色に点灯し、充電が開始されます。
充電時間は、およそ 5～8 時間で、最低 1 時間以上は充電をしてください。



赤ランプが点灯

- 6** 満充電になると、ランプが緑に変わります。
充電は自動的に停止します。



緑ランプが点灯

- 7** 電源スイッチを「ON」の位置にします。



- 8** バッテリー残量を確認します。
3つのランプが点灯していれば満充電です。



- 9** 漏電や感電の事故を防ぐため、充電器の電源プラグをコンセントから抜いた後に、バッテリー充電用ソケットから3ピンコードを抜いてください。

- 10** バッテリー充電用ソケットのカバーを閉じます。

警告

- 変形、破損のある電源コードや電源プラグは、使用しないでください。ショート、発火、感電の原因になる恐れがあります。
- 電源プラグの抜き差しは確実に行ってください。
- 延長コードを使用するなどして屋外で電源プラグを接続する場合は、雪や水がかからないように十分注意してください。感電の原因になる恐れがあります。

注意

- 充電には専用の充電器をご使用ください。
- 雷が発生したら直ちに充電を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 充電に最適な温度は、10～25℃です。適温範囲外で充電した場合、除雪作業ができる時間が短くなりますのでご注意ください。
- 除雪作業終了後は、すぐに充電をしてください。充電せずにそのまま放置すると、バッテリーの性能が著しく低下します。
- 使用しない期間も3カ月に1回は充電してください。著しくバッテリーの性能が低下した場合、専用の充電器での充電ができなくなります。

点検・整備の仕方

いつまでも安全にお使いいただくために定期点検を行ってください。

除雪期前	除雪期	除雪期後
▼シーズン前点検 <ul style="list-style-type: none">スクレーパーの点検 P.16クローラーの点検 P.16バッテリーの点検 P.26	▼運転前点検 <ul style="list-style-type: none">スクレーパーの点検 P.16バッテリーの点検 P.26充電器の点検 P.27各部の緩みやガタツキの点検 P.16潤滑油の点検 P.27	▼シーズン後点検 <ul style="list-style-type: none">各部防錆、グリス・潤滑油の塗布 P.27バッテリー接続コネクタ取外 P.26

警告

- 安全を確保し作業を行ってください。
- 作業中に電源スイッチを入れを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願いします。
- 作業はバッテリー接続コネクタを取外してから行ってください。

注意

- 作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。
- メンテナンス終了後は汚れが付着しない場所かカバーなどをかぶせて保管してください。

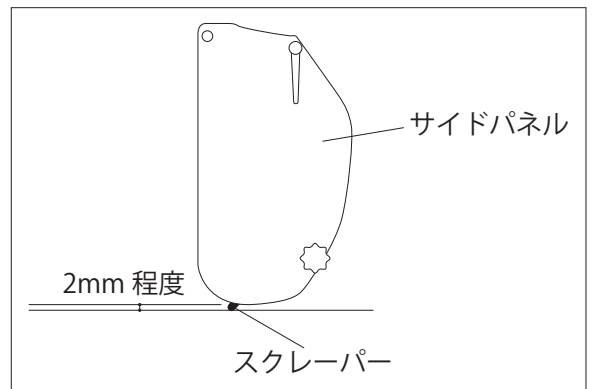


このQRコードを読み取ることで、「点検・整備の仕方」を動画でご覧いただくことができます。パソコンでご覧になる場合は、<http://www.shop.haige.jp/video/hg-k5080en.html>

スクレーパーの点検

本機を平坦な場所に置き、ブレードを接地させます。その際、スクレーパーがサイドパネルより 2mm 程度出るように調整します。

- ブレード高さ調整レバーを操作し、ブレードを上上げます。(P.13 参照)
- スクレーパー取付ボルト・ナット 5カ所を緩め、サイドパネルより 2mm 程度出るように調整し、ナットを締付けます。

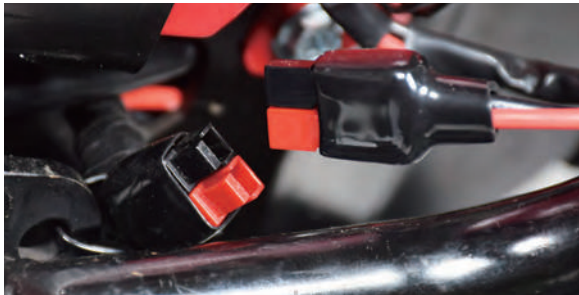


点検・整備の仕方

バッテリーの点検

バッテリーパックにゆがみ、破損、液漏れがないか確認します。異常があった場合は交換が必要になります。

- 1 バッテリーの接続コネクタを外し、バッテリーパックを真上に引抜きます。



- 2 目視でバッテリーケースを確認します。

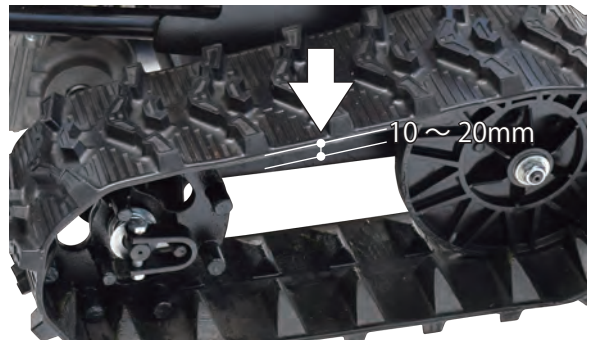
⚠ 注意

・バッテリーケースは重量物です。持ち上げる際、落下させないように十分ご注意ください。

クローラーの点検

クローラーに亀裂や著しい摩耗がないか、適正なたるみか、車軸が破損していないかを確認します。

- 1 本機を平坦な場所に置き、クローラー中央部を強く押した時に 10～20mm のたるみになっているか、亀裂や著しい摩耗がないかを確認します。



- 2 車軸が破損していないかを確認します。

⚠ 注意

- ・点検は、必ず平坦な場所で行ってください。
- ・クローラーが凍結している時は、正しい張りの点検ができません。凍結を削除してから点検を行ってください。

クローラーの張り調整

19mm スパナやメガネレンチ、枕木等をご用意ください。調整の際はボルト・ナットに潤滑剤を塗布するとスムーズに作業が行えます。

- 1 枕木を車体下に引き、クローラーを浮かせます。はじめに手前のナットを左に回し緩めます。



点検・整備の仕方

- 2 ボルトを右に回すと締めりクローラーが張っていき、左に回すと緩んでいきます。
この時、奥のナットをスパナで押さえます。



- 3 調整が完了したら奥のナットを締め、手前のナットを締めます。

グリス・潤滑油の塗布

本機の使用後は回転部分、撻動部、可動部を清掃し、グリスや潤滑油を塗布します。

※グリスは市販のリチウムグリスをお使いください。

- 1 撻動部に潤滑油やグリスを塗布します。



- 2 可動部等に潤滑油やグリスを塗布します。



ロッド部

ブレード回転部

サブハンドル

ロッド、サブハンドル連結部

充電器の点検

- 1 充電器、電源コードに亀裂、破損がないか確認します。異常があった場合は交換が必要になります。

警告

- ・充電器、電源コードに亀裂、破損などがあり、そのまま使い続けるとショート、発火、感電の原因になる恐れがあります。

ヒューズの交換

ヒューズが切れたら交換をしてください。

- 1 ヒューズカバーを開けます。



- 2 平漏ヒューズを新品と交換し、カバーを閉じます。



運搬の仕方

荷台への乗せ方

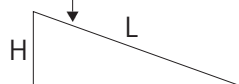
本機の積み降ろしは、平坦な場所で行ってください。また、バッテリー残量が十分あることを確認してください。

- 1 アユミ板は本機の重量+作業者の体重に耐えられる物を使用してください。
本機重量：72kg

- 2 安全のため、アユミ板の傾斜角度が 15 度以下になるようにします。



L: アユミ板の長さ	2.5m	3.1m	3.5m
H: アユミ板までの高さ	500 cm	600 cm	700 cm



- 3 本機のブレードを上げます。(P.13 参照)
- 4 P.17 の要領で本機をゆっくり前進させ、アユミ板から荷台に乗せます。
- 5 本機が荷台に乗ったら、前後進切替をニュートラルにし、電源スイッチを切り、キーを抜きます。
- 6 バッテリー切れや故障などで自走出来ない場合は、P.19の要領で手押しで行ってください。

⚠ 注意

- ・アユミ板の途中で本機を停止させないでください。万が一停止した場合は、ハンドルをしっかり握り、アユミ板から踏み外さないよう慎重にゆっくり降りて、平坦な場所で再スタートをしてください。
- ・バッテリー切れや故障などで自走出来ない場合は、ハンドルをしっかり握りゆっくり行ってください。

荷台からの降ろし方

- 1 本機のブレードを上げます。(P.13 参照)
- 2 P.17 の要領で本機を前進させ、荷台からアユミ板に移動しゆっくり降ろして行きます。

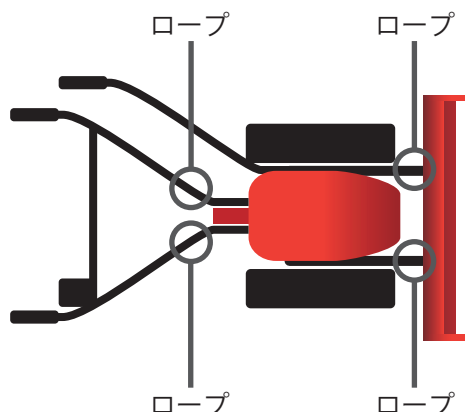


⚠ 警告

- ・後進では絶対に降りないでください。アユミ板から踏み外したり、つまづいたりした場合、本機が作業者に覆いかぶさってくることもあり、大変危険です。

ロープの固定方法

本機を荷台に乗せ移動する際は、ロープやハーネス等で固定をします。



長期間使用しない時

除雪機を長期に渡り使用しない時は、次のお手入れを行ってください。

- 1 保管する時は、平坦で堅い地面に水平に置てください。
- 2 保管する時は、ブレードを接地させてください。
- 3 電源スイッチキーを抜いてください。
- 4 バッテリーは自然放電します。保管前に満充電し、接続コネクタをはずしてから湿気の少ない場所で保管してください。(P.26 参照)
- 5 バッテリーは、少なくとも 3 カ月に一度は充電を行ってください。
定期的に充電を行わないと、バッテリーの性能が著しく低下し、次のシーズンに使用できなくなる恐れがあります。

注意

・バッテリーを充電する際は、必ず接続コネクタを取付けてから行ってください。

- 6 各部のボルト類の破損、腐食、緩みを点検します。
- 7 防錆、潤滑油を塗布します。
- 8 本機を長期保管する時は、風雨の当たらない場所にカバーなどをかけて保管してください。

故障と思ったら

症状	原因	対処
電源が入らない	①バッテリーパックの接続コネクタが外れている	確実に接続 (P.12 参照)
	②ヒューズが切れている	交換 (P.27 参照)
充電ができない	①バッテリーパックの接続コネクタが外れている	確実に接続 (P.12 参照)
	②充電器の3ピンコードがバッテリー充電用ソケットにしっかり接続されていない	確実に接続 (P.23 参照)
	③バッテリーが著しく消耗している	バッテリーパックを本機から取り出し、1日放置。電圧が回復する場合があります。それでも充電できない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
	④充電器が故障している	交換
走行しない	①電源スイッチが「OFF」になっている	「ON」にする
	②変速スイッチが「ニュートラル」になっている	前進又は後進に切替える (P.14 参照)
	③バッテリーの残量が不足している	バッテリーを充電 (P.23 参照)
	④クローラーの固定金具が解除されている	固定金具を固定する (P.19 参照)
	⑤スロットルを回していない	スロットルを回す (P.17 参照)
除雪出来ない すぐ停止する	①深い雪や重たい雪を除雪しモーターに負荷がかかっている	除雪幅を狭くし少しずつ除雪をする (P.20 参照)
	②バッテリーの残量が不足している	バッテリーを充電 (P.23 参照)

本規約は、ハイガー産業株式会社(以下弊社とする)を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。

1. 保証内容

お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。(以下保証修理とする) 保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。

2. 保証の期間

商品発送日から1年間となります。業務用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。

3. 保証修理の受け方

まずは弊社へ電話またはメールにてご連絡いただきますようお願いいたします。

症状・使用状況を伺い、お手順方法をご案内させていただきます。

返送となった場合、商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

保証修理の対象であっても、往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。

4. 保証適用外の事項

- (1)純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2)保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3)一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4)取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5)示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6)弊社が認めていない改造をされたもの
- (7)地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8)注意を怠った結果に起きたもの
- (9)薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10)使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等)
- (11)機能上影響のない感覚的な現象(音、振動、オイルのにじみ等)
- (12)ご購入いただいた販売店または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
- (13)使用することで消耗する部品または劣化する部品(ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャープン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等)
- (14)保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
- (15)商品を使用できなかったことによる損失の補填(休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等)

5. 別扱いの保証

部品メーカーが製造した部品は部品メーカーが定めた保証規約に従って保証されます。

6. 保証の適用

本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した場合、その時点で保証は終了いたします。

本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定が出来ない場合、保証が受けられない可能性がございます。

■アフターサービスについて■

1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
3. 保証期間(1年間)を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。

■部品について■

1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
2. 在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただく場合がございます。
3. 生産終了品につきましては、お取り寄せ不可の場合がございます。
4. 仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しかできない場合がございます。
5. 仕様変更などにより同時交換部品が発生する可能性がございます。

お客様ご相談窓口

故障部品をお客様で交換される場合

まず、ご購入された店舗にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる往復の送料は全てお客様のご負担となります。

お客様

①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。

④送料お客様ご負担で、代替部品を発送致します。

ハイガー産業または販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認

故障部品をメーカーで修理する場合

ネット購入や弊社で電話・FAXにてご購入の場合は、弊社にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担となります。

お客様

①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。

②送料お客様ご負担で故障装置を発送してください。

⑤お見積り提示。

⑥送料お客様ご負担で、故障装置を発送いたします。

ハイガー産業

- ③受付
- ④故障内容の確認
- ⑥お見積り了承
- ⑦故障装置の修理

故障部品を販売・修理店で修理する場合

まず、ご購入された販売・修理店にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担となります。
遠方の場合の出張修理や引取り修理は、別途料金が発生致します。

お客様

①故障の状況をお電話でご連絡ください。その際、持ち込み修理*1か、引取り修理*2か、出張修理*3かを相談させていただきます。

⑤持ち込み修理の場合、修理完了後ご来店ください。引取り修理の場合は、修理完了後お届け致します。
※ご希望に応じて相談させていただきます。

販売・修理店

- ②受付
 - ③故障内容の確認
 - ④故障装置の修理
- *1 お客様ご自身が販売・修理店に製品を持ち込むことをいいます。
*2 販売・修理店がお客様のご自宅まで製品を引き取りに行くことをいいます。
*3 販売・修理店がお客様のご自宅まで行き、その場で修理を行うことをいいます。

修理、部品に関するご相談

修理依頼される時は、下記を事項ご連絡ください。

- ①商品名
- ②型式
- ③故障の状況
- ④購入サイト、年月日
- ⑤お名前
- ⑥ご住所
- ⑦電話番号

修理、使い方などのご連絡窓口

お手数ですが、今一度本取扱説明書を熟読し、弊社のサイトや動画等を見ていただき、問題が解決しない場合は、下記までお問い合わせください。

- お問い合わせ先
ホームページお問い合わせフォーム:<http://www.haigeshop.net/contact>
ハイガー産業お問い合わせ TEL:0276-55-2275 FAX:0276-55-2276

販売・修理店

販売・修理店は随時増えています。販売・修理店により修理対応機械が異なりますので、最新情報は下記サイトをご覧ください。

オフィシャルサイト▶<http://www.haige.jp/agency.html>

本店サイト▶<http://www.haigeshop.net/new/2015-07-02-113023.html>

楽天サイト▶<http://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/after.html>

ヤフーサイト▶<https://shopping.geocities.jp/haige/after.html>

ハイガー産業 株式会社

〒370-0503 群馬県邑楽郡千代田町赤岩3072-3

<http://www.haigeshop.net/>

本取扱説明書を熟読しても、弊社のサイトや動画等を見ても、問題が解決しない場合は、お手数ですが下記までお問い合わせください。その際、迅速なご対応ができるよう「お問い合わせ件名」を必ずお伝えください。
件名:「初期不良」「1年保証内故障」「1年保証外故障」「使用方法」「その他」

お問い合わせ

ホームページお問い合わせフォーム:<http://www.haigeshop.net/contact>

TEL. 0276-55-2275 FAX. 0276-55-2276

※平日12:00~13:00はお電話は繋がりにません。

※スタッフ一同、迅速・丁寧な対応を心がけておりますが、季節商品等お問い合わせが集中する時期は、電話が繋がりにくくなったり、折り返し対応や折り返しのご連絡が遅くなる場合がございます。誠に恐れ入りますが、順次対応いたしますのでお待ちいただけますようお願い申し上げます。

お急ぎのご用件でなければ、ホームページお問い合わせフォームよりご連絡をいただけますと幸いです。

FAXは24時間受付しておりますが、営業時間外や弊社休業日にいただいたお問い合わせに関しましては、翌営業日以降に順次対応させていただきます。ご了承ください。

◎営業時間:9:30~17:00(第1・3・5土曜日は12:00まで) ◎定休日:日曜、祝日、第2・4土曜日



※ハイガー産業は、顧客満足度100%を目指し、日々製品(部品やカラーも含め)の改良を行っています。そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。